

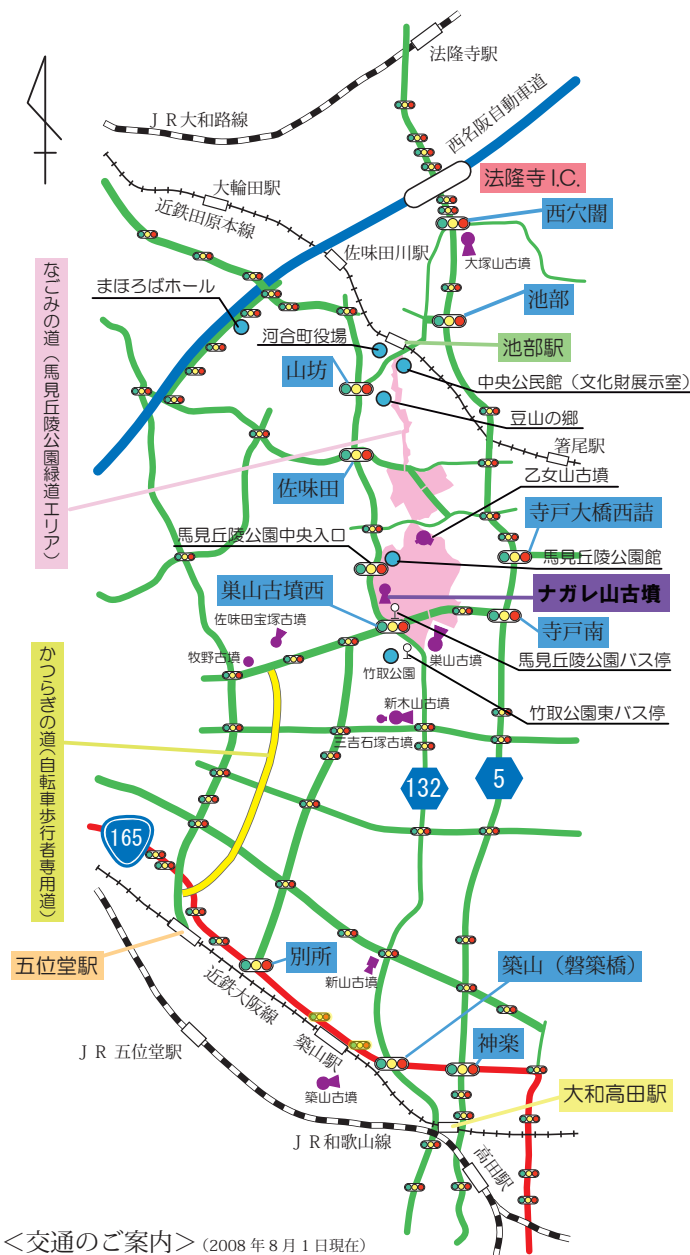
発掘調査で埴輪列を確認した墳丘裾と中段に埴輪列を復元し、埴頂部と西側埴輪列は植栽で埴輪列を表現しました。

葺石の復元には、発掘調査で確認した種類の石を用いています。主に二上山麓の安山岩や花崗岩を使用しました。

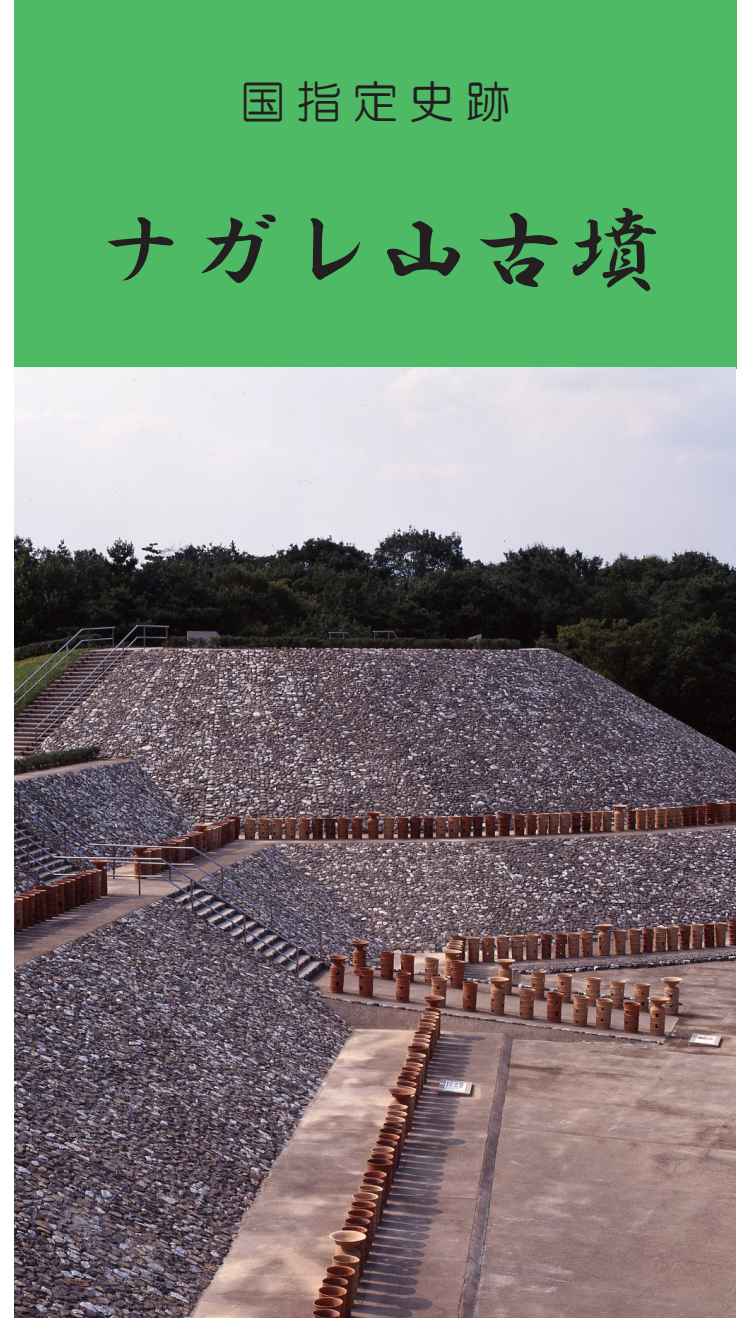


築造当初推定 約 1,800 本

URL <http://www.town.kawai.nara.jp>



【法隆寺インターチェンジ】より、自動車で南へ約15分、【奈良県馬見丘陵公園中央エリア駐車場】から南へ徒歩6分。



# ナガレ山古墳

河合町教育委員会



# 1,600 年前と後の古墳を体感

ナガレ山古墳は、昭和 50 年から 51 年にかけて、土砂採取により一部が破壊されたため、国指定史跡に指定され、保存されてきました。昭和 63 年度から発掘調査を行い、整備工事を進め、平成 8 年度に完成しました。

整備は破壊されました部分の墳丘をつくり、東側には埴輪を並べ、葺石を葺いて築造当初の姿に復元しました。西側は芝生を張って整備し、1,600 年前と後の姿と同時に見る事ができるようにしました。



↑北上空から



←埴輪列と葺石（東側くびれ部）



←通路遺構整備状況

東側くびれ部の前方部寄りに、2 列の埴輪列で区画された遺構があります。葬送の時に墳丘を上る通路と考えられます。北側埴輪列の間隔が広がっている部分は、墳丘裾くびれ部への出入口と考えられます。



←埴輪 円筒埴輪・朝顔形埴輪・盾形埴輪

石製玉類 勾玉・管玉・臼玉・素



↑石製模造品 刀子・斧・鉈・紡錘車



←鉄製品

刀形・鉈先形・鎌形

前方部埋葬施設  
埋土内土製品↓



前方部墳頂には埋葬施設が残っていました。箱形木棺を粘土で覆った粘土槨です。棺内には副葬品は入られていませんでしたが、被覆粘土内に多くの鉄製品が埋め込まれていました。棺内は赤く塗られ、特に赤い部分は被葬者の頭の位置です。

## 国指定史跡 乙女山古墳

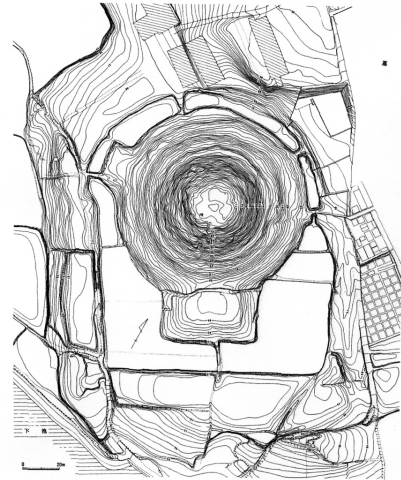
乙女山古墳は、大きな後円部に比べて前方部が極端に短く低い帆立貝形古墳（帆立貝式前方後円墳）として有名な古墳です。墳丘の全長は 130m で、後円部直径 103m、後円部高 14.7m、前方部長 30m、前方部幅 52m、前方部高 3.5m を測ります。

墳丘の周囲には周濠が巡り、その外側に外堤があります。また、後円部西側に造り出しが付設され、家形埴輪等が配置されていました。

後円部墳頂の埋葬施設は不明ですが、かつて水銀朱や粘土の塊が出土したと伝えられており、粘土槨であったと思われます。

ナガレ山古墳古墳より少し後の 5 世紀前半に造られたと考えられます。

昭和 31 年（1956）  
11 月 7 日、国指定史跡。



## 馬見丘陵公園館



古墳の基礎的な知識や馬見丘陵公園の自然について学べる施設です。

建物の外観は前方後円墳をイメージして造られています。

月曜日・年末年始休館、入館無料。

詳しくは Tel 0745 - 56 - 3851

Fax 0745 - 56 - 3855

## 河合町文化財展示室 （河合町中央公民館内）

ナガレ山古墳・乙女山古墳をはじめ河合町内の遺跡から出土した遺物を展示しています。

見学を希望される場合は、事前に河合町教育委員会生涯学習課へ申し込んでください。

